

2020 年度事業計画書
及び
収支予算書

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本歯車工業会

目 次

事業計画書

I. 事業方針	-----	1
II. 実施事業	-----	2

収支予算書

I. 2020年度予算 収支予算書	-----	5
II. 2020年度予算 収支予算書内訳表	-----	7

2020年度事業計画

I. 事業方針

世界経済は、深刻化する米中貿易摩擦の影響が広く産業全体にも設備投資環境の下振れ傾向を伴う変化となって及ぶ一方で、一部産業には底を見極める動きもあったものの下押し圧力は止まらず、更に、年明け以降の世界的ないわゆるコロナショックの深刻な広がり、人、モノの動きの制約を伴う状況の中であらゆる分野の経済活動に影を落とし始めており、終息の予測も含めて先行きが見通せない中で景気の減速感が顕著になると共に、世界経済の腰折れが危惧され、今後も不透明な展開が懸念される。

歯車業界に於いても同様の影響が生産動向にも見られる等失速気味で、先行きの状況変化を注視し、果敢な対応を図るべくあらゆる場面を想定したBCP対応を含めて、冷静な経営判断が求められる情勢となっている。

こうした経済動向の中にあって、当会は我が国機械産業界の機械製造を担う基盤産業として、日本歯車工業会の役割は何かという問いに真摯に向き合いながら、次の100周年をめざした着実な歩みの中で、以下の重点施策を活動の軸として展開していく。

即ち、今年度は、将来を見据えて歯車産業の発展の基礎とすべく、基本的な事業目標を以下とする。

まず、将来のグローバルビジネスを基調とする国際競争力の強化、次に、ものづくり産業基盤としての伝承を踏まえた次世代技術者、経営者の育成を図る。

具体的には、ISO国際規格の制定、改定に深く関与していく規格化事業に加えて、新技術による製品品質向上のための鋼材品質評価法の実用化事業、並びにギヤカレッジ、経営研修会、若手経営者研究会等により、次世代経営者による歯車業界の活力を高める技術者、経営者育成事業等の重点事業を中心に注力し推進する。

当会は「規格、技術、教育」の3つの柱を中心に、歯車産業ひいては日本の機械産業の発展を願い、創業の精神「技術水準の向上と経営の合理化の促進に業者は一致団結の努力を傾倒せねばならぬ」を改めて思い起こして、会員の皆様のお役に立てる工業会をめざし努めて参りますので、温かいご協力とご支援をお願い申し上げます。

Ⅱ. 実施事業

1. 経営力強化事業

1.1 経営研修会

優良企業の見学会実施並びに各種改善活動事例の研修会、講演会の実施

「経営研修会」と称し、技術・人材開発、教育、経営管理等の実例に基づいた研修会、講演会を3回開催予定。経営力・技術力の強化を目的とし、研修会を通して、経営・技術上の有益な情報・知識を習得し、事業発展に生かす。また、会員同士の交流を深め、新たなビジネスチャンスを生み出すよう事業を推進する。

[第39回経営研修会] (予定)

日 時：2020年7月

場 所：西日本

内 容：講演会、工場見学

[第40回経営研修会]

日 時：2020年10月23日 (金)

場 所：協育歯車工業株式会社

内 容：講演会、工場見学

[第41回経営研修会] (予定)

日 時：2020年2月

場 所：中日本

内 容：講演会、工場見学

1.2 人材育成・教育

企業の長期安定的な発展の基礎となる中核人材育成事業への支援

1.2.1 JGMA ギヤカレッジの開講

2020年5月から開講を予定していたが、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大が予測されている状況を受け、2020年度は已む無く中止を決定。

1.2.2 ギヤカレッジ・フォローアップ

ギヤカレッジ・フォローアップ研修会の開催 定員20名

JGMAギヤカレッジ修了生の更なるステップアップの場として、2016年度に新規事業として立ち上げた。研修生自身による自主運営を原則として、次世代歯車技術者のネットワークづくりと技術力向上、現場の困りごと解決について考えることに重点を置き、ディスカッションを中心とした研修を行なう。

「JGMAギヤカレッジ」の補完事業として年2回開催予定。

2. 規格・標準化事業

グローバル化が進む歯車業界における競争力強化に向けて、ISO規格の制定、改訂への積極的関与はますます重要度が増している。日本歯車工業会は、永年に渡りISO/TC60(歯車専門委員会)において全ての事案への投票義務を負い、業務に積極的に参加し、会議に出席する

Participating member (Pメンバー) としての責務がある。

今年度はISO/TC60国際会議の将来を見据え出席者の若返りを図る。ベテラン・若手の2名体制で出席頂き、国際会議出席経験者を拡大する。

3. 技術及び研究開発事業

歯車製造分野における高齢化とそれに伴う後継者への伝承のため、次世代を対象として歯車の基礎的技術教育を重点に支援を行う。

3.1 若手経営者の経営戦略に関する研修、企業訪問、討議による研究会を実施

若手経営者研究会と称して、相互研鑽とネットワーク構築を含めた次世代経営者による歯車業界の技術者、経営者育成事業として推進する。

3.2 中堅技術者向け基礎技術教育

大学教授、業界の第一線技術者より講師を選定、目的に沿った演題を設定し、基礎技術講座・講習会を日本機械学会と連携で年2回の協賛開催を予定している。

- ・2020年度 歯車技術研究会（日本機械学会：歯車基礎技術講座）2日間の開催予定

3.3 JGMATE（金属性状評価法）プロジェクト

「歯車用鉄鋼材料の適正且つ効率的な評価手法の開発」

2016年度にスタートした本事業は、機械装置の性能を支える歯車用鉄鋼材料の品質を効率的に且つ適正に評価できる新開発の検査装置を基に実使用鋼材のフィールドでの有用性を担保、確立するための新評価法確立と合わせて、当該の評価法を日本製の機械装置の性能向上と鉄鋼品質安定化に寄与し、国際競争力を高める強力な武器とすることを目的に、将来の新JIS規格原案作成をめざし活動を進めてきた。そして昨年度は、4年間に積み上げてきた測定データ・知見及びJGMA規格制定委員会の活発な論議の元、当工業会規格「JGMA 9901-01 歯車用鋼材のマイクロビッカース硬さ分布の多点測定法とその評価」として制定、発行した。本年度は、前記JGMA規格をフィールドにて実用、評価頂くと共に、更なる各種鋼材データを収集し、将来のJIS化に向けデータを積み上げる。

4. その他

4.1 生産性向上設備投資促進

産業競争力強化法（平成25年法律第98号）の規定に基づく先端設備に該当する旨の証明書を発行する団体として、引き続き、証明書発行サービス等の事業を行う。

4.2 広報委員会

4.2.1 歯車関連製品に関する生産、流通等の調査

会員企業並びに歯車産業界における、歯車関連製品の生産動向並びに需要先別調査を継続して行い、業界動向を把握し、データ解析のうえ企業経営の一助として情報を提供する。

4.2.2 広報・PR事業

工業会の活動状況等の情報を会員企業や学術教育研究機関、マスコミ、シンクタンク等にホームページや機関誌にて広く提供することにより、関連産業の高度化に貢献するよう努める。

4.2.3 機関誌の発行並びにホームページの充実

機関誌「JGMA News」（年2回）を継続発行し、歯車産業に関する各種最新情報及び話題、関連業界の動向、経済産業省の各種施策、工業会活動報告等を広く情報を提供していく。

また、会員情報や書籍販売、各種統計等の最新情報をホームページに随時更新する。

4.3 総務委員会

4.3-1 各種団体保険の加入促進

当会にて従来から制度化している「団体PL保険」並びに「団体生命保険」について、さらに多くの会員企業に有効的に活用していただくため、加入促進活動を行う。

両制度の継続と規模メリットを享受していただくため、今後もいっそう活動を強化していく。

以上

2020年度予算 収支予算書
2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	0	250,000	△ 250,000
受取入会金収入	0	250,000	△ 250,000
受取会費	38,000,000	40,000,000	△ 2,000,000
正会員会費収入	30,000,000	31,000,000	△ 1,000,000
賛助会員会費収入	8,000,000	9,000,000	△ 1,000,000
受取補助金等	2,511,135	2,511,135	0
受取補助金等振替額	2,511,135	2,511,135	0
事業収益	5,556,135	23,341,135	△ 17,785,000
受講料収益	530,000	18,430,000	△ 17,900,000
図書資料頒布収入	600,000	1,000,000	△ 400,000
保険事務取扱手数料	900,000	1,100,000	△ 200,000
広告料	590,000	300,000	290,000
見本市事務取扱手数料	400,000	0	400,000
負担金収入	25,000	0	25,000
負担金収入振替額	2,511,135	2,511,135	0
雑収益	1,912,000	5,571,000	△ 3,659,000
受取利息	1,000	1,000	0
雑収入	1,911,000	5,570,000	△ 3,659,000
経常収益計	47,979,270	71,673,270	△ 23,694,000
(2) 経常費用			
事業費	28,012,720	53,774,123	△ 25,761,403
謝金	186,000	260,000	△ 74,000
会議費	1,014,200	4,209,500	△ 3,195,300
会場借料	0	1,500,000	△ 1,500,000
講演費	60,000	3,320,000	△ 3,260,000
テキスト制作費	0	800,000	△ 800,000
実習費	0	2,500,000	△ 2,500,000
原稿執筆料	0	320,000	△ 320,000
給与賞与手当	9,532,450	14,663,100	△ 5,130,650
退職給付費用	129,720	181,500	△ 51,780
社会保険・福利厚生費	1,101,820	2,280,650	△ 1,178,830
旅費交通費	2,635,120	9,072,750	△ 6,437,630
通信費	756,000	457,000	299,000
支払手数料	669,800	798,500	△ 128,700
ホームページ更新費	580,000	730,000	△ 150,000
事務用消耗品費	116,000	167,000	△ 51,000
印刷製本費	1,585,000	1,553,000	32,000
事務局借室料	2,610,000	3,142,650	△ 532,650
借室附帯費	145,000	204,400	△ 59,400
減価償却費	5,122,610	5,585,073	△ 462,463
事務用機械借用料	620,000	925,000	△ 305,000
什器備品費	406,000	219,000	187,000
租税公課	185,000	765,000	△ 580,000
広告宣伝費	200,000	0	200,000
諸会費	140,000	0	140,000
諸雑費	218,000	120,000	98,000

2020年度予算 収支予算書
2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	19,796,550	16,526,611	3,269,939
謝金	0	50,000	△ 50,000
会議費	3,150,400	2,740,500	409,900
給与賞与手当	7,340,550	4,968,900	2,371,650
退職給付費用	146,280	60,500	85,780
社会保険・福利厚生費	1,024,180	858,350	165,830
旅費交通費	1,090,880	2,730,250	△ 1,639,370
通信費	500,000	151,000	349,000
支払手数料	120,600	75,500	45,100
ホームページ更新費	420,000	270,000	150,000
事務用消耗品費	84,000	54,000	30,000
印刷製本費	438,000	432,000	6,000
事務局借室料	1,890,000	1,162,350	727,650
借室附帯費	105,000	75,600	29,400
減価償却費	72,660	208,161	△ 135,501
事務用機械借用料	420,000	256,500	163,500
什器備品費	294,000	81,000	213,000
図書資料費	70,000	70,000	0
租税公課	76,000	185,000	△ 109,000
業務委託費	1,800,000	1,500,000	300,000
運営対策費	50,000	50,000	0
諸会費	220,000	220,000	0
諸雑費	484,000	327,000	157,000
経常費用計	47,809,270	70,300,734	△ 22,491,464
当期経常増減額	170,000	1,372,536	△ 1,202,536
税引前当期一般正味財産増減額	170,000	1,372,536	△ 1,202,536
法人税等	70,000	70,000	0
税引後当期一般正味財産増減額	100,000	1,302,536	△ 1,202,536
一般正味財産期首残高	41,717,141	40,414,605	1,302,536
一般正味財産期末残高	41,817,141	41,717,141	100,000
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 5,022,270	△ 5,022,270	0
当期指定正味財産増減額	△ 5,022,270	△ 5,022,270	0
指定正味財産期首残高	21,469,449	26,491,719	△ 5,022,270
指定正味財産期末残高	16,447,179	21,469,449	△ 5,022,270
Ⅲ 正味財産期末残高	58,264,320	63,186,590	△ 4,922,270

2020年度予算 収支予算書内訳表
2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科目	経営研修事業	標準化事業	広報事業	見本市・団体 保険事業	技術・企画事業	JGMA ギヤカレッジ	ギヤカレッジ・フォ ローアップ研修会	JGMATE プロジェクト	小計	管理	合計
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38,000,000	38,000,000
正会員会費収入									0	30,000,000	30,000,000
賛助会員会費収入									0	8,000,000	8,000,000
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	2,511,135	2,511,135	0	2,511,135
受取補助金等振替額								2,511,135	2,511,135		2,511,135
事業収益	0	600,000	190,000	1,700,000	0	0	0	2,511,135	5,556,135	0	5,556,135
受講料収益								530,000	530,000		530,000
図書資料頒布収入		600,000						0	600,000		600,000
保険事務取扱手数料			190,000	900,000					900,000		900,000
広告料			190,000	400,000					590,000		590,000
見本市事務取扱手数料				400,000					400,000		400,000
負担金収入					0		25,000		25,000		25,000
負担金収入振替額								2,511,135	2,511,135		2,511,135
雑収益	500,000	160,000	0	0	0	0	0	0	660,000	1,252,000	1,912,000
受取利息									0	1,000	1,000
雑収入	500,000	160,000							660,000	1,251,000	1,911,000
500,000	760,000	190,000	1,700,000	0	0	0	555,000	5,022,270	8,727,270	39,252,000	47,979,270
経常収益計											
(2) 経常費用											
事業費	2,679,630	6,500,760	3,778,530	3,513,810	1,373,840	3,229,030	1,914,850	5,022,270	28,012,720		28,012,720
謝金	0	100,000	0	0	0	50,000	36,000	0	186,000		186,000
会議費	407,200	80,400	32,800	18,400	68,600	25,800	381,000	0	1,014,200		1,014,200
講演費									60,000		60,000
給与賞与手当	1,042,400	2,868,550	1,627,500	1,087,300	727,400	1,549,300	630,000	0	9,532,450		9,532,450
退職給付費用	27,600	13,800	27,600	27,600	27,600	5,520	0	0	129,720		129,720
社会保険・福利厚生費	188,050	117,100	308,200	188,500	127,750	51,620	120,600	0	1,101,820		1,101,820
旅費交通費	398,200	1,377,400	63,200	54,800	122,400	487,520	131,600	0	2,635,120		2,635,120
通信費	60,000	236,000	139,000	83,000	30,000	155,000	53,000	0	756,000		756,000
支払手数料	10,800	38,100	20,700	514,600	5,400	66,200	14,000	0	669,800		669,800
水・ムベ・シ更新費	60,000	170,000	110,000	70,000	30,000	90,000	50,000	0	580,000		580,000
事務用消耗品費	12,000	34,000	22,000	14,000	6,000	18,000	10,000	0	116,000		116,000
印刷製本費	24,000	268,000	467,000	678,000	12,000	116,000	20,000	0	1,585,000		1,585,000
事務局借室料	270,000	765,000	495,000	315,000	135,000	405,000	225,000	0	2,610,000		2,610,000
借室附帯費	15,000	42,500	27,500	17,500	7,500	22,500	12,500	0	145,000		145,000
減価償却費	10,380	29,410	19,030	12,110	5,190	15,570	8,650	5,022,270	5,122,610		5,122,610
事務用機械借用料	60,000	170,000	110,000	70,000	30,000	90,000	90,000	0	620,000		620,000
什器備品費	42,000	119,000	77,000	49,000	21,000	63,000	35,000	0	406,000		406,000
租税公課	25,000	37,500	10,000	85,000	0	0	27,500	0	185,000		185,000
広告宣伝費	0	0	200,000	0	0	0	0	0	200,000		200,000
諸会費	0	0	0	140,000	0	0	0	0	140,000		140,000
雑費	27,000	34,000	22,000	89,000	18,000	18,000	10,000	0	218,000		218,000

2020年度予算 収支予算書内訳表
2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科目	経営研修事業	標準化事業	広報事業	見本市・団体 保険事業	技術・企画事業	JGMA ギヤカレッジ	ギヤカレッジ・フォ ローアップ研修会	JGMATE フロンティア	小計	管理	合計
管理費										19,796,550	19,796,550
会議費										3,150,400	3,150,400
給与賞与手当										7,340,550	7,340,550
退職給付費用										146,280	146,280
社会保険・福利厚生費										1,024,180	1,024,180
旅費交通費										1,090,880	1,090,880
通信費										500,000	500,000
支払手数料										120,600	120,600
ホームページ更新費										420,000	420,000
事務用消耗品費										84,000	84,000
印刷製本費										438,000	438,000
事務局借室料										1,890,000	1,890,000
借室附帯費										105,000	105,000
減価償却費										72,660	72,660
事務用機械借用料										420,000	420,000
什器備品費										294,000	294,000
図書資料費										70,000	70,000
租税公課										76,000	76,000
業務委託費										1,800,000	1,800,000
運営対策費										50,000	50,000
諸会費										220,000	220,000
諸雑費										484,000	484,000
経常用計	2,679,630	6,500,760	3,778,530	3,513,810	1,373,840	3,229,030	1,914,850	5,022,270	28,012,720	19,796,550	47,809,270
当期経常増減額	△ 2,179,630	△ 5,740,760	△ 3,588,530	△ 1,813,810	△ 1,373,840	△ 3,229,030	△ 1,359,850	0	△ 19,285,450	19,455,450	170,000
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,179,630	△ 5,740,760	△ 3,588,530	△ 1,813,810	△ 1,373,840	△ 3,229,030	△ 1,359,850	0	△ 19,285,450	19,455,450	170,000
法人税等								0	0	70,000	70,000
税引後当期一般正味財産増減額	△ 2,179,630	△ 5,740,760	△ 3,588,530	△ 1,813,810	△ 1,373,840	△ 3,229,030	△ 1,359,850	0	△ 19,285,450	19,385,450	100,000
一般正味財産期首残高											41,717,141
一般正味財産期末残高											41,817,141
II 指定正味財産増減の部											
一般正味財産への振替額								△ 5,022,270	△ 5,022,270		△ 5,022,270
当期指定正味財産増減額								△ 5,022,270	△ 5,022,270		△ 5,022,270
指定正味財産期首残高											21,469,449
指定正味財産期末残高											16,447,179
III 正味財産期末残高											58,264,320